

平成19年度 バランスシートと行政コスト で見る町の財政状況

表1 バランスシート 普通会計(一般会計)

(平成20年3月31日現在)
(単位:千円)

借 方 金 額			貸 方 金 額		
項 目	金 額	対前年度増減	項 目	金 額	対前年度増減
【資産の部】 (町が保有している資産)	25,548,492	△633,014	【負債の部】 (町が負っている債務)	8,698,597	1,181,874
1.有形固定資産 (庁舎・学校・道路等)	22,822,320	△268,451	1.固定負債 (1年を超えて返済する債務)	8,222,066	1,207,334
(1)建物等	15,638,945	△268,451	(1)地方債	5,338,887	△78,931
(2)土地	7,183,375	0	(2)退職給与引当金	2,883,179	1,286,265
2.投資等 (投資その他の資産等)	1,256,808	△293,443	2.流動負債 (1年以内に返済する債務)	476,531	△25,460
(1)投資及び出資金	67,580	492	(1)地方債翌年度償還予定額	476,531	△25,460
(2)貸付金	3,000	0	【正味資産の部】 (企業の資本金にあたるもの) (国・県からの補助金、一般財源等)	16,849,895	△1,814,888
(3)基金	1,017,738	△234,448			
(4)退職手当組合積立金	168,490	△59,487			
3.流動資産 (現金・預金・債権)	1,469,364	△71,120			
(1)現金・預金	1,030,668	△62,826			
(2)未収金	438,696	△8,294			
資 産 合 計	25,548,492	△633,014	負債・正味資産合計	25,548,492	△633,014

バランスシート 普通会計(一般会計)

表1のバランスシートでは、町がこれまで整備した学校・道路等の保有状況やこれらを整備するために借り入れた負債の状況などが分かります。借方には町が保有している「資産」、貸方にはその資産を形成するために要した「負債」や「正味資産(民間企業の資本にあたるもの)」が表示されています。

平成19年度末現在の「資産」は、255億4,849万2千円。このうち、庁舎・学校・道路等の有形固定資産は、228億2,232万円で、89%を占めています。これらの資産を形成するために要した地方債は58億1,541万8千円(固定負債における地方債53億3,888万7千円と流動負債における翌年度償還予定額4億7,653万1千円の合計)、正味資産が168億4,989万5千円となっています。

「資産」は、昨年度より6億3,301万4千円減少、負債は11億8,187万4千円増加、正味資産は18億1,488万8千円減少しています。

資産のうち、有形固定資産は、葉山小学校体育館の耐震工事等による増加分から減価償却した分を差し引いた結果、昨年度より2億6,845万1千円減少しています。一方、投資等における基金(公共公益施設整備基金や下水道整備事業のための都市計画事業整備基金等が該当。財政調整基金は流動資産の現金・預金に含まれます)は、2億3,444万8千円減

表2 行政コスト計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:千円)

項 目	金 額	対前年度増減
【人にかかるコスト】(行政サービスの担い手である職員に要するもの)	4,138,234	1,357,611
(1)人件費	2,655,385	66,362
(2)退職給与引当金繰入等	1,482,849	1,291,249
【物にかかるコスト】(地方公共団体が最終消費者となっているもの)	2,812,760	52,410
(1)物件費	1,872,224	68,440
(2)維持補修費	42,373	△8,487
(3)減価償却費	898,163	△7,543
【移転支的コスト】(他の団体に移転して効果がでてくるようなもの)	2,690,161	△61,527
(1)扶助費	705,121	57,664
(2)補助費等	379,731	13,475
(3)繰出金	1,566,908	△94,348
(4)普通建設事業費(他団体等への補助金等)	38,401	△38,318
【その他のコスト】	167,120	12,004
災害復旧事業費	4,032	4,032
公債費(利子分)	118,997	△4,407
不納欠損額	44,091	12,379
行政コスト合計 A	9,808,275	1,360,498
(*)町民一人当たりの行政コスト(単位:円)	296,421	39,039
【使用料・手数料等】	336,922	△16,443
【国庫(県)支出金】	726,343	86,779
【一般財源】	6,779,845	5,701
収 入 合 計 B	7,843,110	76,037
【正味資産国庫(県)支出金減価償却額】 C	124,321	△179
差引一般財源等増減額(B-A+C)	△1,840,844	△1,284,640
(*)町民一人当たりの差引一般財源等増減額(単位:円)	△55,633	△38,687

(*)平成20年3月31日現在住民基本台帳人口33,089人を用いています。

計算書

町では、財政状況をより分かりやすく示すために、平成19年度の行政活動の結果について、総務省方式による企業会計手法を活用した普通会計（一般会計）と町全体のバランスシート（特別会計等を含むもの）と行政コスト計算書を作成しました。

バランスシートと行政コスト計算書は、町ホームページでもご覧いただけます
 (http://www.town.hayama.lg.jp/zai-sei/joukyou_2.html)

問合せ 財政課 ☎内線321、322

少しています。

「負債」では、地方債（固定負債における地方債と流動負債における翌年度償還予定額の合計）が1億439万1千円減少しています。前述した施設建設等の費用の財源の一部として地方債を借り入れたことに加え、交付税の財源不足を補うための振替財源として臨時財政対策債を特例で発行したことによるものです。

また、固定負債の退職給与引当金については、年度末に全職員が退職したと想定した場合に必要な退職金で昨年度より12億8,626万5千円の増となっています。これは今年度から算出方法を変更し、財政健全化法の施行に伴う将来負担比率の算出過程で用いる退職手当負担見込額と同額を計上したことによるものです。従来の算出方法で算出した場合は、520万1千円増で0.3%の伸びとなります。

行政コスト計算書

バランスシートが過去に取得した資産や負債等の状況を明らかにするものに対して、表2の行政コスト計算書は、資産形成につながらない1年間の町民の皆さんに提供した行政サービス活動にどれだけコスト（費用）がかかり、それを当該年度の収入（バランスシートの資産形成に充てた分を除く）でどう賄ったのかを表しています。

平成19年度の行政コストは98億827万5千円で、昨年度より13億6,049

万8千円増加しています。また、町民一人当たりのコストは29万6,421円で、昨年度より3万9,039円増加してい

ます。全体の収支では18億4,084万4千円不足で、町民一人当たりでは5万5,633円の不足となっています。

町全体のバランスシート

地方公共団体は、普通会計（一般会計）で行う事業の他に下水道事業や介護保険事業等、地域に密着した様々な事業を行っています。表3は、そのすべての活動をまとめた葉山町全体のバランスシートです。

対象の会計は、普通会計（一般会計）、公営事業会計（国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計）と土地開発公社です。

町全体のバランスシートでは、資産総額は491億8,527万3千円、負債合計は192億5,303万6千円、正味資

産合計は299億3,223万7千円となっています。

普通会計（一般会計）と町全体のバランスシートの比較は、表4のとおりです。

特徴的なのは、(A)／(B)の比率が、資産で1.93倍なのに比べ負債で2.21倍と、負債の増加率が高いことです。これは、下水道事業における地方債の発行によるもので、普通会計（一般会計）のみの場合と比べ、これまでの世代による負担比率は大きく減少し、将来世代による負担が増えています。

表3 町全体のバランスシート

(平成20年3月31日現在) (単位：千円)

項目	借方金		項目	貸方金	
	金額	うち普通会計		金額	うち普通会計
【資産の部】 (町が保有している資産)	49,185,273	25,548,492	【負債の部】 (町が負っている債務)	19,253,036	8,698,597
1.有形固定資産 (庁舎・学校・道路・ 下水道施設等)	45,306,394	22,822,320	1.固定負債 (1年を超えて返済する債務)	18,323,197	8,222,066
2.投資等 (投資その他の資産等)	1,449,881	1,256,808	2.流動負債 (1年以内に返済する債務)	929,839	476,531
3.流動資産 (現金・預金・債権)	2,428,998	1,469,364	【正味資産の部】 (企業の資本金にあたるもの) (国・県からの補助金、一般財源等)	29,932,237	16,849,895
資産合計	49,185,273	25,548,492	負債・正味資産合計	49,185,273	25,548,492

表4 普通会計と町全体のバランスシートの数値比較

(単位：千円)

	町全体(A)	普通会計(B)	(A)／(B)
資産合計	49,185,273	25,548,492	1.93倍
(有形固定資産a)	45,306,394	22,822,320	1.99倍
負債合計	19,253,036	8,698,597	2.21倍
正味資産合計(b)	29,932,237	16,849,895	1.78倍
これまでの世代による負担比率(b/a)	66.1%	73.8%	—